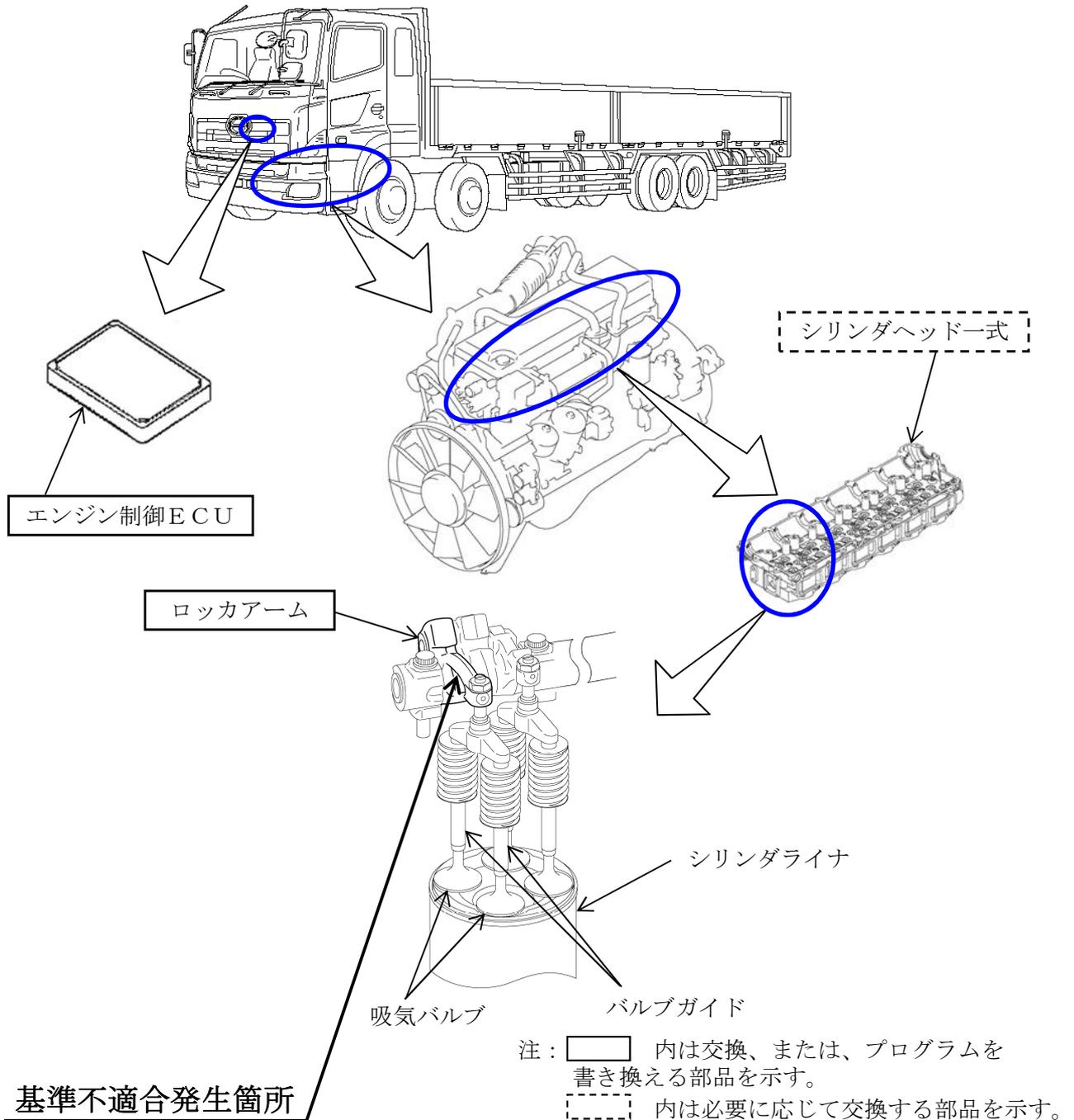


# 改善箇所説明図



## 基準不適合発生箇所

大型トラックのE13C型エンジンにおいて、エンジン制御プログラムと吸気バルブ用ロッカアームの形状が不適切なため、吸気バルブにカーボンデポジットが付着しバルブガイドが摩耗するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、バルブとシリンダライナが干渉することで異音や振動が発生し、最悪の場合、バルブが折損して、エンジンが停止するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、エンジン制御プログラムを書き換えるとともに、吸気バルブのガイドを点検し、ロッカアームを対策品に交換する。なお、バルブガイドに摩耗が生じていた場合は、シリンダヘッド一式を新品に交換する。

また、プログラム書き換えにより、再生時のメータ内表示等が一部変更になるので、その旨をお客様へお知らせする。

識別：改善済車両にはサーモスタットケースに白色ペイントを塗布する。